



そうへい 僧兵くんおすすめ

温泉で入浴

歩いて森林浴 少し止まって森呼吸



湯の山遊歩道、観音山遊歩道、恋結び歩道 **A** ロープウェイ **B** 中之島公園 **C** 沢橋



**A** **ロープウェイ**  
 全長2161m(日本最大級)、約12分で御在所谷へ上ります。

**B** **中之島公園**  
 渓流に囲まれた森の公園。温泉街からの散策に最適です。

**C** **沢橋**  
 多くの登山・家人が川の流れを楽しみました。

**D** **三岳寺**  
 その昔は僧兵たちが勢力を誇り、今は恋愛成就のお寺として注目されています。

**E** **大石公園**  
 広さ約登ほどの「湯の山の大石」は圧巻!

**F** **瀬滝**  
 三滝川の源流となっているスケール大きな滝。

湯の山 歴史こぼれ話の道

- ①「鈴木小舟の歌碑」
- ②「瀬滝の常夜燈」
- ③「瀬滝橋を架けた史五郎」
- ④「阪三臣歌碑」
- ⑤「盛岡から来た植物採集家」
- ⑥「湯の山大石と小曾刻之助」
- ⑦「湯の山三岳寺 芭蕉の句碑」
- ⑧「大石橋と小曾刻之助」
- ⑨「湯の山大石」
- ⑩「湯の山大石」
- ⑪「観音山か、ごいし」が恋か」
- ⑫「観音山の調査」
- ⑬「明杉」
- ⑭「観音山か、ごいし」が恋か」

※2021年最新データ

**鹿の湯伝説**  
 別名「湯の湯」と呼ばれる湯の山温泉の伝説のひとつ  
 むかしむかしのこと、ひとりの心やさしい水こりが山で一泊の薪をついた薪を売りました。薪をつけていくと、薪は各所に薪をついた薪をつけ、なにやら気持ちよさそうにしています。その時、木陰に行人の姿が、木こりは大声をあげ、この薪を売ってやりました。それから数日後、木こりのもとにいつぞやの薪が落ちてきて「危ないところをありがとうございました。あのくぼみには、ケガに気づくお湯が湧き出ているのですよ」と告げました。その薪はまたたく間に遠い村々や町にまで広がったか。

恋結び折鶴伝説

ときは江戸時代。上方の大名、ひとり娘の養と使用人の侍は、おぼれぬ恋を基いつめ湯の山に。そして、湯の山にふたりで身を投げようとしたその時、ひとりの僧兵が現れ「温泉にでもつかれば、気持ちも変わるかも知れんぞ」と諭したのです。その言葉に気が取戻したふたりが湯に入ると、なぜか思い固めていた気持ちが、はんわりと解けていくのが分かりました。あくる朝、僧兵にれを三岳寺を建てたところ姿がみえませんが、せめて感謝の気持ちを伝えようとふたりは船を借り、寺へ奉納しました。すると折鶴は連なってひらひらと舞い上がり、飛びたっていました。この不思議な出来事に、明るく喜びが生まれ、ふたりは上方に帰る決心をしたのです。それから数年後、幸せになったふたりは三岳寺を訪ね、住職にあの僧兵のことを話すと、もう何十年も僧兵はいないとのこと。ふたりを救った僧兵は仏様のお姿だったのでしょか。今でも三岳寺では、水汲の愛と、幸せに結ばれることを願い、折鶴を奉納する恋人たちの姿が絶えません。毎年、あらかね縁が家づくし奉納には、この心あたたまる伝説にあやかって「折鶴奉納奉納」が奉納が行われています。